

チラナタービンハンドピース 取扱い説明書

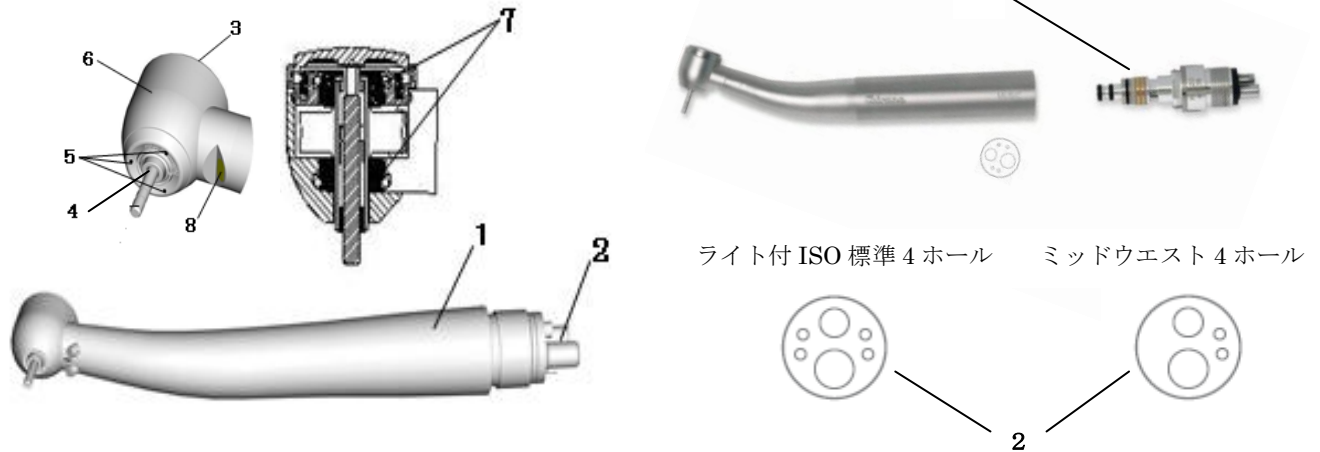
本製品をお使いになる前に必ずお読み下さい。

株式会社マイテクニカル

【警告】

- 1、本製品は未滅菌である。初めて使用する際は、感染防止の為に必ずハンドピースの滅菌及び付属品の滅菌または消毒を行うこと。感染防止及び安全の為に、使用者及び使用者の近くに居る者は必ずマスク及びゴーグル等適切な保護器具を着用すること。
- 2、HIVやB型肝炎及びその他深刻な感染症に対する感染予防のため、ハンドピースは患者ごとに必ず滅菌すること。
- 3、ハンドピースの清掃は、外装部やヘッド内に付着した異物が乾燥する前に行うこと。
- 4、タービンは取扱い説明書に従い手入れを行うこと。手入れを怠るとカートリッジのベアリングが焼き付き、回転不良、異音、芯ブレ、振動等さまざまなトラブルの原因となる。
- 5、ハンドピース装着時にホースとのジョイントが確実に締まっていること。患者の口腔外で回転させて、確実に装着していることを確認すること。確実に装着していないと、エア圧力でチューブが抜け人身に危害を与える恐れがあり危険である。
- 6、バーの回転が停止してからハンドピースを口腔から出し入れすること。回転したままでは危険である。
- 7、回転中にプッシュボタンを押さないこと。回転中にプッシュボタンを押すとプッシュボタンが発熱し、口腔内や術者の指をやけどするおそれがある。
- 8、十分に開かない状態で無理にハンドピースを押し入れないこと。プッシュボタンが対合歯（特に臼歯の場合）に当たり、プッシュボタンが発熱し、対合歯を損傷する恐れがある。また、プッシュボタンが摩耗し、バーの脱着が困難になる。
- 9、回転中にカップリングをチューブ側に引かないこと。空気圧力でハンドピースが抜け、人身に危害を与える恐れがある。
- 10、 次のようなバー・ポイントは使用しないこと。
 - ・ISO規格及びJIS規格を満たさないもの
 - ・刃や軸に傷が付いたもの
 - ・変形したり曲がったもの
 - ・さび、欠け、折れのあるもの
 - ・商品の後加工をしたもの（シャンク部を切断して短くしたもの）
バー・ポイントが抜け出し、口腔内を傷つけたり、患者が飲み込む恐れがある。バー製造者が出している個々のバーの許容回転数に従うこと
- 11、バー・ポイントは、チャックの奥まで確実に挿入すること。途中までの挿入で回転させないこと。バー・ポイントが抜け口腔内を傷つけたり、患者が飲み込むおそれがある。
- 12、あらかじめ患者の口腔外で回転させ、バー・ポイントの振れ、異常な振動、異音、発熱が無いこと、注水口につまりがなく、注水が噴霧状態になっているかを確認すること。異常がある場合は使用しない。
- 13、ヘッドキャップが十分に締付けられていることを確認する。キャップが外れ、口腔内を傷つけたり、患者が飲み込むおそれがある。
- 14、キャップとヘッドとの間にすき間が生じていないか確認すること。すき間がある場合は、ハンドピースを使用せず購入のディーラー又は頼マイテクニカルに修理を依頼すること。
- 15、智歯抜歯術等において、エアータービンを使用すると皮下気腫等の偶発症が起きる事があるので注意すること。生じた場合は、それらの操作をただちに止め、適切な処置を行うこと。
- 16、薬液による浸漬は行わないこと。水またはエタノール以外での清掃は行わないこと。

【商品構成及び外観図】



- 1 - タービン本体
- 2 - ジョイント部 (接続規格：ミッドウエスト 4 ホール 又はライト付 ISO 標準 4 ホール)
- 3 - プッシュボタン (ヘッドキャップ)
- 4 - チャック (バー装着部)
- 5 - 注水口
- 6 - タービンヘッド
- 7 - カートリッジ、セラミックベアリング
- 8 - ライト
- 9 - カップリング (接続規格：ライト付 ISO 標準 4 ホール)

製品番号	規格
TGL 637 A	ライト付
TGL 637 AHF	ライト付、クイックストップ機能、オイルメンテナンスフリー
TGL 637 AMHF	ライト付、クイックストップ機能、オイルメンテナンスフリー、KaVo マルチフレックス対応
TGL 637 AH	ライト付、クイックストップ
TGL 637 AM	ライト付、KaVo マルチフレックス対応
TGL 637 AHF LED	LED ライト付、クイックストップ機能、オイルメンテナンスフリー
TGL 637 A LED	LED ライト付
TGL 637 AMH	ライト付、クイックストップ機能、KaVo マルチフレックス対応
TG 656 EASY	ライトなし 接続：ミッドウエスト 4 ホール
TGL 656 EASY	ライト付 接続：ライト付 ISO 標準 4 ホール
R420	カップリングジョイント 接続：ライト付 ISO 標準 4 ホール

【製品仕様】

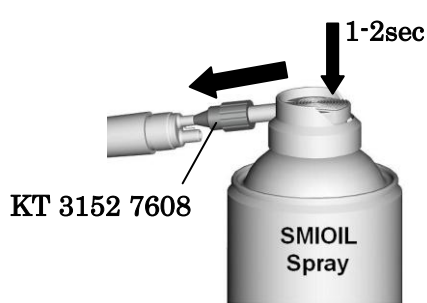
項目	仕様		
供給空気圧	0.21-0.23 MPa 最高 0.3 MPa		
最高回転速度	毎分 400,000 回転		
推奨回転速度	毎分 320,000 回転		
最大空気消費量	毎分 38±2 L	冷却用水	毎分 50ml 以下
チャック方式	プッシュ式チャック		
バーのタイプ	FG タイプ		
シャンクの径・長さ	1.59~1.60 ・ 8mm 以上		
作業部径	φ 2mm 以下		

バーのタイプ

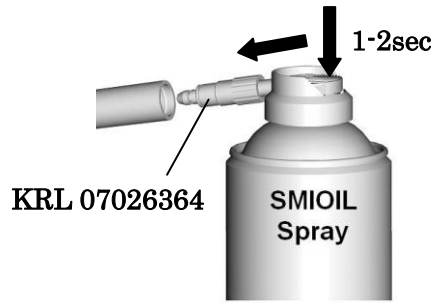
全長	スタンダードタイプ	25mm 以下
	スモールタイプ	22mm 以下

【ご使用前に】

- 本製品を最初に使用する際、本製品をタービンホースに接続する前に専用オイル（SMIOIL）を1～2秒下記の図のようにスプレーして下さい。スプレー後は約20秒置き馴染ませて下さい。バーを装着し口腔外で回転させ、ヘッド部分から余分なオイルが漏出した場合、ガーゼか柔らかい布で拭き取って下さい。



TG 656 EASY / TGL 656 EASY



TGL 637 A / TGL 637 AH / TGL 637 AM
/TGL 637 A LED /TGL 637 AMH

【使用方法】

1、 エアータービンの装着

TG-656

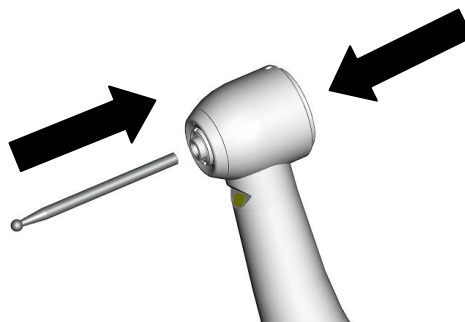
エアータービンにタービンホースのジョイントを挿入し、確実に固定させる。

TGL 637

カップリングジョイント(R 420 又は KaVo MULTI flex)にタービンホースを挿入し、確実に固定させる。カップリングジョイントに TG 637 をカチッと音がするまで差し込む。

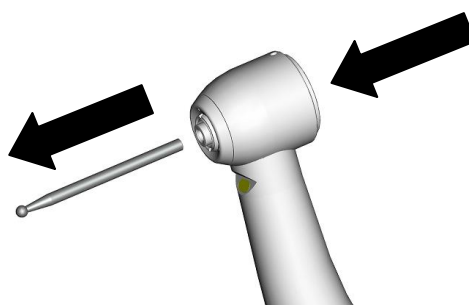
2、 バーの装着

バーをエアータービンのヘッドのチャック部分に軽く入れ、プッシュボタンを親指で強く押し、バーが突き当たるまで確実にチャックに挿入する。挿入したらプッシュボタンから親指をはなし、挿入したバーを軽く引っ張ってチャックに確実に保持されているか確認する。



3、 バーの取り外し

タービン及びバーが静止していることを確認し、プッシュボタンを親指で強く押し、バーを取り外す。



4、製品の動作

ホースから空気を供給し、エアータービンを回転させる。ホースから冷却用の水をエアータービンに供給し噴出させる。

5、終了

使用を終了する場合は、ホースからエアアの供給を停止しエアータービンの回転を止める。

【機器使用に付いての注意】

- 1、空気圧はホースとのジョイント部分において 0,21-0,23MPa（最高 0,3MPa）の範囲で使用すること。規定圧を越えて使用するとカートリッジの故障、または破損の原因になります。
- 2、注水は規定の水圧で行う事。規定の水圧以下で使用すると注水不足を招き、切削部位が発熱する。また規定の水圧以上で使用すると、水漏れの原因になります。
- 3、必ずバーを装着した状態で回転させること。バーを装着しないで回転させると、プッシュボタンの発熱や摩耗の恐れがあります。
- 4、本製品の使用后、バー・ポイントを装着したままにしないで下さい。
- 5、バー・ポイントの消毒のために薬液を使用する場合、必ず薬液を除去してからチャックに挿入して下さい。
- 6、エアータービンとホースのジョイントを接続する場合、確実に装着されていることを確認して下さい。
- 7、切削は、患者とエアータービンの為に過度な圧力をかけずソフトタッチで行って下さい。
- 8、シャンク部にごみ、汚れが付着したまま使用すると、バー・ポイントの保持力の低下や摩耗が早くなるので、いつもきれいな状態で使用して下さい。
- 9、プッシュボタンを押さない状態でバーを無理に挿入しないで下さい。
- 10、使用後はバー・ポイントをハンドピースから取り外して下さい。
- 11、バー洗浄剤には金属を錆させる成分が含まれているものがあるので、必ずバー洗浄剤を除去してからチャックに挿入して下さい。シャンク部にバー洗浄剤が付着したままバー・ポイントをチャックに挿入すると、チャックの故障の原因になります。
- 12、オートクレーブ滅菌はハンドピースを滅菌パックに入れて熱源や缶体に密着させないようにして下さい。滅菌温度は 135° C 以上にならないように調整して下さい。ハンドピースを立てて滅菌する時は、ヘッド部を上にして下さい。
- 13、バー・ポイントを挿入したままオートクレーブ滅菌をしないで下さい。

【機器使用中の注意】

- 1、機器全般及び患者に異常がないことを絶えず監視して下さい。
- 2、機器全般及び患者に異常が発見された場合、患者に安全な状態で機器の動作を停止するなどの適切な処置を講じて下さい。
- 3、機器に患者が触れることがないように注意して下さい。

【本製品の使用上注意事項】

- 1、本製品は熟練した者以外は使用しないで下さい。
- 2、本製品を絶対に改造しないで下さい。
- 3、全ての接続（コード類含む）が正確かつ安全であることを確認して下さい。
- 4、長時間直射日光にさらさないで下さい。
- 5、本製品は精密機器の為、落下などの強い衝撃を与えないこと。故障や破損の原因になります。

【貯蔵・保管方法】

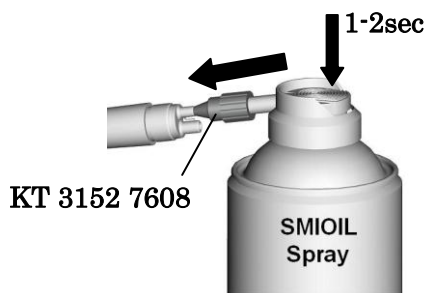
- 1、滅菌パックに入れ滅菌し、そのまま保管して下さい。
- 2、以下の場所には保管しないで下さい。
 - 水のかかるおそれのある場所。
 - 気圧、湿度、温度、風通し、日光及びほこり、塩分・イオウ分を含んだ空気などにより本製品に悪影響が生ずる恐れのある場所。
 - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所。

【日常のお手入れ】

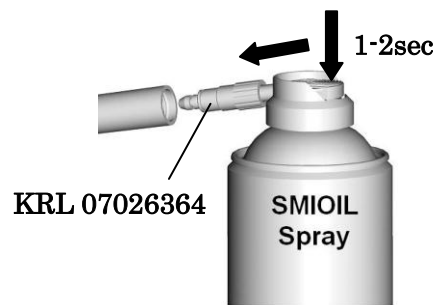
1、オイル注油

- 接続部分のオイルメンテナンス

タービンの 20 分使用につき、1 秒～2 秒下記図のようにオイル注油を行って下さい（タービン使用開始直後は 5 分～10 分後にオイル注油を行って下さい）。もし注油したオイルが黒く汚れていたら、汚れが無くなるまでスプレーして下さい。注油後は余分なオイルは拭き取って下さい。



TG 656 EASY / TGL 656 EASY



TGL 637 A / TGL 637 AH / TGL 637 AM
/ TGL 637 A LED / TGL 637 AMH

- チャック部分のメンテナンス

チャック部分のオイルメンテナンスは一週間に一回行う事を推奨します。

注油は、バーを抜いた状態で 1 秒～2 秒下記図のように行って下さい。



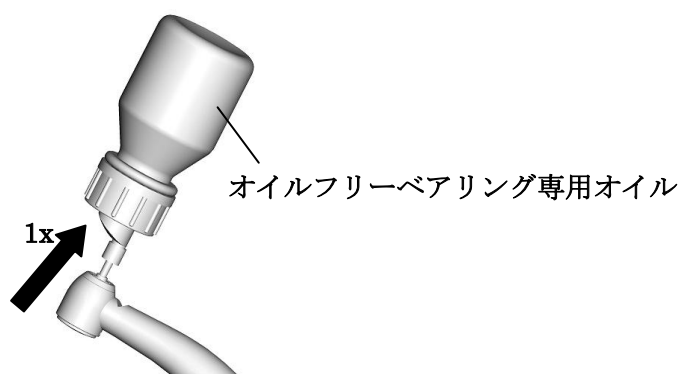
- オイルフリーベアリングを使用するタービンのお手入れ【重要】

HFの型番が付いた機種はオイルフリーのベアリングを使用しています。通常のオイル注油は行わないで下さい!

HF型タービンは下記に従ってメンテナンスを行って下さい。

1. 週に一回、タービンに付属しているオイルフリーベアリング専用オイルが入ったボトルを用意し、ボトルのノズルをチャック内に入れ、停まるまでノズルを差し込みます。ボトルを一回押し、オイル一滴をチャック内に注入します。
2. 使用前に必ずタービンが正常且つ安全に動作する事を確認してからお使い下さい。

【注意】本製品開封後初めて使用する場合、又は本製品をしばらく使用していなかった場合、いずれの場合も本メンテナンスをおこなって下さい。



TGL 637 AHF / TGL 637 AHF LED

TGL 637 AMHF

2、洗浄・消毒・滅菌

【注意】これらの作業は、作業者の安全を守る為に防護用のグローブと服装を着用して下さい。

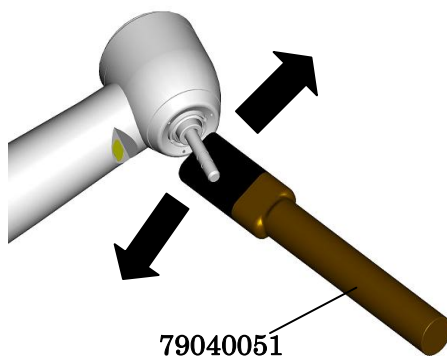
【注意】使用後は、出来るだけ早く洗浄・消毒・滅菌を行って下さい。

- 外部洗浄

タービンヘッドに付着した汚れは、パー・ポイントを装着したまま弱い水量を噴霧しながら回転させ、ブラシ又は柔らかい歯ブラシで除去を行います。外部洗浄後、使用したブラシは洗浄及び消毒をして下さい。

【注意】タービンの表面の洗浄は、流水、ブラシ、60%アルコールが使用できます。

アルコールへの浸漬、超音波洗浄機での洗浄は行わないで下さい。



- スプレーノズルの洗浄

スプレーノズルの洗浄は、付属のニードルを使用し行って下さい。洗浄の際、ニードルが手や指に刺さらないよう注意して下さい。

Fig 7 1

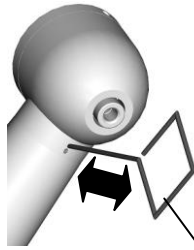
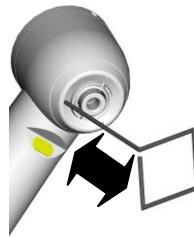


Fig 7 2



洗浄用ニードル

- ライトガイドの清掃

ライトガイドの表面は、60%のエチルアルコールで洗浄して下さい。洗浄後はフランネルのような柔らかい生地で拭き取って下さい。

- 薬剤での消毒

タービンの表面を、HIV ウィルスに対する消毒剤（スプレー又はワイパー）で消毒することを推奨します。

【注意】化学物質での消毒には、塩素系や強アルカリ性の消毒剤は使用しないで下さい。

【注意】消毒剤への浸漬や超音波洗浄機での洗浄は行わないで下さい。

【注意】テストバーを使用した場合、同様に薬剤で消毒してください。

- 滅菌

患者使用毎に高圧蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）を行って下さい。滅菌を行う際は135℃以下で滅菌を行って下さい。

【注意】滅菌サイクル終了後オートクレーブから直ちにタービンを取り出して下さい。（乾燥工程は行わないでください。）

【注意】スプレーノズル専用ニードルも滅菌を行って下さい。

【点検】

- 日常の点検

本製品を使用する際、診療開始前、午前・午後にも必ず下記点検を行って下さい。

日常点検リスト

No	点検事項	点検頻度
1	ヘッドキャップの緩み	患者ごと
2	エアータービンとホースの接続	患者ごと
3	パー・ポイントの振れ	患者ごと
4	チャックの保持力	患者ごと
5	回転時の異音、振動	随時

【カートリッジ交換】

- カートリッジは本製品の性能及び安全性に重大な影響を及ぼすので、チラナ純正カートリッジ以外は使用しないで下さい。
- 純正カートリッジ以外を使用した場合、正規の保証及び修理を受ける事は出来ません。
- カートリッジの交換は、購入のディーラーまたは㈱マイテクニカルへご連絡下さい。

【ライト交換】

- ライトは本製品の性能及び安全性に重大な影響を及ぼすので、チラナ純正ライト以外は使用しないで下さい。
- 純正ライト以外を使用した場合、正規の保証及び修理を受ける事は出来ません。
- 交換用ライトは、購入のディーラーまたは㈱マイテクニカルへご連絡下さい。

【廃棄】

- 医療機器の感染性廃棄物は、歯科医師、又は、医師が非感染の状態であることを確認し、医療機関が産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の資格を有する処理業者に廃棄を依頼して下さい。

【耐用年数】

製造日より5年間

【製造元】

CHRANA Medical, a.s.

Nam. Dr. A. Schweitzera 194 916 01 Stara Tura, SLOVAKIA

【製造販売元】

株式会社マイテクニカル 東京支店

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-3-6 東洋油脂ビル

電話 03-6231-0779

FAX 03-6231-0779

【その他の連絡先】

株式会社マイテクニカル 佐賀オフィス

〒844-0024

佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙 2351-130

電話 0955-41-0015

FAX 0955-41-0003

株式会社マイテクニカル 本社

〒800-0225

福岡県北九州市小倉南区田原 3-2-24

電話 093-475-2771

FAX 093-475-2781